

ナウマン通信



2021年
10月29日発行
第22号

大阪市立我孫子南中学校

グー・チョキ・パー



「十人十色～みんなで作る大きな虹の絆～」をテーマに今年度行ってきた体育大会と28日、29日で実施した文化発表会も無事やり切ることができました。今年もコロナの関係で限られた舞台発表しかできず、展示を中心とした文化発表会となりました。舞台発表では音楽部の発表や民族学級の「ソルチャンゴ」の演奏。体育大会で行った3年生の「南中ソーラン」の動画披露や有志の発表と数少ない発表でしたが自然と沸き起こる拍手にみんなの温かさが表れていました。特にこれで引退となった音楽部の3年生のみなさん、お疲れさまでした。展示の部も見ごたえのある学年の作品や個性あふれる個人の作品が所狭しと展示され、素晴らしい内容になっていました。



1年生は仲間を想うをテーマに『切り絵』、2年生は『大阪調ベモザイクアート』と題して大阪の名所を見事なモザイクアートで紹介していました。3年生は『はばたけ25期』をテーマに自身の将来を色でイメージし、人形を作っていました。その一つ一つが班としてつながり、クラス、学年とつながっていることを立体的に表していました。

さらに各教科やクラブ、特別支援学級、民族学級の作品に加え管理作業員さんをはじめとする先生方の作品も力作ぞろいでした。1クラスごとにじっくりと見学もでき、まさに芸術の

秋を満喫できた文化発表会となりました。まさに十人十色、仲間の意外な一面、才能を発見できたのではないのでしょうか。一部ですがホームページで作品も紹介していますので是非見てください。

今回のナウマン通信のタイトルは「**グー・チョキ・パー**」です。いったい何のことと思った人がいるかもしれません。実は「宇宙兄弟」という漫画の中で次のようなシーンがあります。宇宙飛行士になるために閉鎖環境訓練が行われ、5人の受検者の中から2人の通過者を自分たちで選ばなければならないというシーンです。その時、難波六太は「じゃんけん」を提案しました。「投票にすべきだ」と反対するものもありましたが、5人のメンバーに対して六太から出たセリフが「**グーみたいな奴がいて、チョキみたいな奴もいて、パーみたいな奴もいる。誰が一番強いかわかる奴はいるか？**」と言い放ったのです。適材適所、十人十色、1人として同じ人間はいない。またそれぞれが得意な分野があって、苦手な分野もある。勝てる相手と負ける相手が違って誰が一番を決めるのは難しい。長所と短所は表裏一体でプラスにもマイナスにもなります。そんな様子を表すワンシーンでした。

まさに今回の文化発表会を見ていて、そんなことを校長先生も思いました。人は一人ひとりに違いがあって面白い。この人には勝る能力もあの人には勝てないこともある。勝つとか負けるとかにこだわるよりも互いを認め合い、尊重し合って互いに成長できる。そんな人間関係、つながりができたら素敵だと思いませんか？

昔から勝ち負けを決めるためにみんながやってきたじゃんけんをするときにこんなことを思い出してくれたらうれしく思います。